

第56回機械振興賞

産業技術に貢献

機械振興協会は「第56回（令和3年度）機械振興賞」10件を決定した。応募総数23件の中から「経済産業大臣賞」1件、「中小企業庁長官賞」1件、「機械振興協会会長賞」6件、「審査委員長特別賞」1件、「奨励賞」1件を選定した。中小企業基盤整備機構理事長賞は該当がなかった。表彰式は新型コロナウイルス感染症の拡大により実施が見送られた。

機械振興賞は獨創性、革新性、経済性に優れた機械工業技術に関わる研究開発により、新製品の製造、製品の品質・性能の改善や生産の合理化に顕著な業績を上げた企業・研究開発担当者、中小企業の支援機関担当者が表彰の対象。1966年度創設の「機械振興協会賞」と、70年度創設の「中堅・中小企業機械開発賞」を2003年度に「新機械振興賞」として統合。18年度に「機械振興賞」と改称した。中小企業・小規模事業者における機械産業技術の進歩・発展の促進に配慮した運営が特徴的だ。

ごあいさつ

機械振興協会会長 釜 和明



当協会では、機械産業技術の進歩・発展に著しく寄与した企業や研究開発担当者、および、中小企業の事務の活用、省力化、ヘルスケア、環境など社会課題への対応や、これらの事業支援を行っている団体など幅広いご応募をお待ちしています。

各種の社会的課題が顕在化するなかで、脱炭素、経済安全確保、さらなるデジタル化の加速などの国際的な動きが生じています。このなかで、中島尚正東京大学名譽教授を委員長とする審査委員会が厳正に審査し、10件の表彰を決定しました。

製造業には、ポストコロナを見据えてイノベーションに取り組み、課題の解決とともに、新しい事業機会を創出することが求められています。機械産業には、こうした動きの中心を担う存在として、一層の役割が期待されています。

当協会では、機械産業技術の進歩・発展に著しく寄与した企業や研究開発担当者、および、中小企業の事務の活用、省力化、ヘルスケア、環境など社会課題への対応や、これらの事業支援を行っている団体など幅広いご応募をお待ちしています。

業化につながる支援活動を「機械振興賞」として表彰しております。

今年度は23件の応募をい

ただき、中島尚正東京大学名譽教授を委員長とする審査委員会が厳正に審査し、10件の表彰を決定しました。

受賞者各位のこれまでのご尽力に深く敬意を表しますとともに、今後の益々の発展と機械産業の進歩に寄与されますことを祈念いたします。また、ご後援、ご協力をいただきました関係各位に深く感謝の意を表します。

来年度の募集は、4月1日から5月31日までです。機械技術を活用した先進技術の開発、IoTやAIの活用、省力化、ヘルスケア、環境など社会課題への対応や、これらの事業支援を行っている団体など幅広いご応募をお待ちしています。

社会的課題解決を

第56回機械振興賞 受賞業績・企業名

【経済産業大臣賞】	
3D 歯車創成加工技術と高精度スカイピング加工機の開発	ジェイテクト
【中小企業庁長官賞】	
ホースの制約がない高粘度液移送システムの開発	兵神装備
【機械振興協会会長賞】	
グローブ式パワーアシスト荷役物運搬機の開発	アイコクアルファ
多種素材に対応する串刺食品製造装置（団子製造機）の開発	飯田製作所
高能率超狭開先溶接システムの開発	JFEスチール/永井製作所/ヤマネ鉄工建設
高性能系冷却装置の開発	TMTマシナリー
第2世代燃料電池駆動システムの開発	トヨタ自動車
非破壊（小径）金属パイプ内面粗さ測定機	二九精密機械工業
【審査委員長特別賞】	
振動可視化レーダの開発	アルウェットテクノロジー
【奨励賞】	
重力を利用した水中酸素溶解技術と装置の開発	安原環境テクノロジー